

## 当社取締役会の実効性に関する評価の結果について

株式会社 SCREEN ホールディングス

当社では、コーポレート・ガバナンスを有効に機能させるために取締役会がどのように貢献しているかを検証し、課題を抽出し改善を図る目的で、取締役会自身が取締役会の実効性の分析・評価を実施、その結果の概要を開示しております。2022年3月期における当社取締役会の実効性について、分析・評価を行いましたので、その結果の概要を下記のとおり公表いたします。なお、分析・評価については、第三者機関の助言を得て実施し、当社外の評価結果との比較も行っております。

当社取締役会では、下記の分析・評価をふまえ、対応策の策定とその実行を進め、取締役会の機能を向上させ、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を進めてまいります。

### 記

#### 1. 評価および分析の方法

- (1) 実施時期            2022年1月28日～3月2日
- (2) 回答者            全取締役および全監査役（社外役員含む計12名）
- (3) 実施要領            第三者機関作成のアンケートによる自己評価方式＋個別インタビュー
  - ① 第三者機関が無記名式による自己評価アンケートならびに個別インタビューを実施
  - ② 第三者機関がアンケートを集計、インタビュー内容と併せて結果を分析
  - ③ 第三者機関より受領した報告書を取締役会で検証・議論
- (4) 質問事項（計40問）
  - ① 取締役会の構成
  - ② 取締役会の運営
  - ③ 取締役会の議論
  - ④ 取締役会のモニタリング機能
  - ⑤ 取締役・監査役に対する支援体制
  - ⑥ トレーニング
  - ⑦ 指名・報酬諮問委員会
  - ⑧ 株主（投資家）との対話
  - ⑨ 社内取締役のパフォーマンス
  - ⑩ 社外取締役のパフォーマンス
  - ⑪ ご自身の取り組み
  - ⑫ 総括

各質問に対する自己評価は5段階で行うとともに、当社取締役会の実効性を更に高めるために必要な点などについて自身の考えを自由に記入し、回答者は直接第三者機関に報告しました。

## 2. 評価結果

当社取締役会はその役割・機能を概ね適切に果たしていると評価いたしました。2021年3月期に比べて評価が向上していたのは、取締役会構成員の多様性、審議時間の十分な確保、自由闊達で建設的な議論・意見交換、グループ全体の内部統制システムの構築・運用状況の十分な監督・監視、社外役員に対する十分な事前説明の実施といった面でした。

一方で、取締役会における経営戦略やポートフォリオ戦略等に関する議論、取締役・監査役と内部監査部門を含む関連部門との連携といった面で改善の余地が示されておりました。

### 【2021年3月期評価において認識した課題とその取り組みについて】

- ① 経営戦略や経営計画の潜在的なリスクの検討、更新や修正の議論のあり方  
新たに事業会社社長をメンバーに加えた（リスクマネジメント体制とした）グループリスク委員会において、グループ全体におけるリスクの洗い出しをより俯瞰的に行い、そこで特定された重要リスクを、取締役会に直接上程・報告する体制とすることで、更なるグループ全体のリスクの把握と議論の深化を図ってまいりました。
- ② 役員に求められるトレーニングの機会提供  
取締役会でのCEO、代表取締役 取締役会長および主要事業子会社社長等による事業状況等の定期的な報告、ならびに審議事項の事前説明を通じた執行側からの詳細・背景説明を継続して実施するとともに、ガバナンス関連法レクチャーや事業説明および工場見学を実施することで当社状況把握の機会提供に努めてまいりました。

## 3. 今後の取り組み

当社取締役会ならびに社内関係部署においては、今回の評価と原因分析をふまえ、取締役会での議論や取締役・監査役に対する支援といった課題について、十分な検討を行うとともに、現在の取り組みの深化や、関連部門との更なる連携の強化等により、取締役会での多様な議論の活性化や審議の質の向上を図ります。